

【プログラム1:すごろくトーク

～広げよう友達の輪～】

☆ねらい：すごろくを使い、自分を紹介し合うことを通して、お互いを知り、豊かな人間関係を築くきっかけとする。

《プログラムの概要》

キーワードの例	コミュニケーション
時 間	20分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	サイコロ、すごろくシート（それぞれグループ数）、コマ（人数分）
主な活動	①すごろくを使って自己紹介をする。 ②グループで話題になったこと等を全体に紹介する。
気を付けること	○可能な範囲で話してよいことや、話せないときは「パス」をしてもいいこと等を説明し、安心感をもって参加してもらうようにする。 ○全員が同じように話すことができるようにする。 （例：話す時間は1回につき約30秒程度と決める等） ○聞くときは、あいづちやうなずきを取り入れて聞くように、説明する。
備 考 (アレンジ等)	○書く活動はないので、座談会形式でもできる。
ステップ（中高生 期）編との関連	No9：子育てすごろく～中高Version～

【プログラム1：すごろくトーク～広げよう友達の輪～】

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。 【1分】</p> <p>[キーワード] ○コミュニケーション</p>
17分	全体	<p>2. すごろくを使って自己紹介をする。 【14分】</p> <p>(1) 方法を知る。〈1分〉</p> <p>○サイコロの出た目の数だけコマを進め、とまった場所の話題を話す。</p> <p>全体 (2) 注意事項を確認する。〈1分〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○可能な範囲で話す。</p> <p>○場合によっては、「パス」をしてもよい。</p> <p>○1人の話が長すぎないようにする。(1回の発言は30秒以内で)</p> <p>○誰かが話しているときは、しっかり聴く。 (相手を見る、うなずく、微笑む 等も含む)</p> <p>○誰かが話し終わったら、拍手をする。</p> </div> <p>グループ (3) グループごとに始める。〈12分〉</p> <p>○活動の時間を決め、その時間で進んだ所までとする。</p>
	全体	<p>3. グループで話題になったこと等を他のグループに紹介する。 【3分】</p>
2分	全体	<p>4. まとめ 【2分】</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>いろいろなことを紹介し合うことで、お互いが身近に感じられるようになったのではないか。</p> <p>同世代の友達は、喜びや悩みを共有できる。悩んだり不安だったりするときは、一人で抱え込まないで誰かに話してほしい。</p> <p>これまでより社会が広がる高校時代なので、友達関係を広げ、お互いのつながりを深めてほしい。その気持ちをもつことが大事だ。</p> <p>初対面の人と話すとき、どのような話題だと会話が弾むかを考えることも大事なことだ。</p> </div>

【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・身近に自分のことや子どものことを話せる間柄の友人や知人がいることは、自分にとってとても心強いことである。交友関係を築いていくときに、話しやすい話題から話し、お互いの関係づくりをしてほしい。

スタート

まずは名前を。

今、ほしいものは？

グループの人と握手をしよう！

今一番、行ってみたいところは？

自分に似合う色や好きな色は？

好きな食べ物やズムよく3つ紹介しよう

小学生の頃の思い出は？

「幸せ」と感じるときは？

「自立」とはどんなことだと思う？

今、一番やりたいことは？

声を出して笑ってみよう！

イライラムカムカ発散法は？

本日一番の笑顔を見せよう！

ゴール

※誰かが、話題について話をしたら、右隣の人はそのれに関する質問や感想などを、一言言おう。

洗濯（洗う、干す、取り込み、片づけ）、どれもできる？

これからやってみたいことを3つ紹介しよう。

最近、嬉しかったことは？

10年後のあなたは、どうしてる？

今、自分で作れる料理を3つ紹介しよう。

小さい頃の夢は？

ケータイ、スマホ、1日にどのくらい使ってる？

人生で最もこわかった思い出は？

ラッキー2つ進む。あとの人は拍手を！

苦手な食べ物は何？

家庭の中で、あなたの仕事は何？

家族に一番言いたいことは？

自分が頑張っている時、親に紹介する？

異性につきあっている時、いつ、親に紹介する？